

次世代を担うSC 経営者層の育成を目指す
SC 業界唯一のビジネススクール

SC ACADEMY

SCアカデミー

第19期生募集案内

2025年4月～2026年3月

◆受講のおすすめ

当協会は、1973年設立以来、SC業界の人材育成に重点を置き、今日までセミナー、通信教育、海外研修などの各種教育プログラムを実施して参りました。

2007年には次世代のSC経営者層の育成を目的として、SCを学術的・体系的に学び、SCの新潮流や将来動向についても理解を深めるためのプログラム「SCアカデミー」を創設いたしました。これまでに667名が卒業され、現在18期生49名が在学中です。また、16期よりオンラインを活用し、全国規模で遠隔地の方でも受講いただけるようになりました。

このほど第19期生の募集を開始いたしました。つきましては、貴社の次世代を担う人材の教育機関として、本SCアカデミーをご活用いただきますようご案内申し上げます。

◆目的と特色

1. 次世代を担うSC経営者層の養成を目的とします。
2. SCを学術的・体系的に学び、SCの新潮流や将来動向についても理解を深めていただけます。
3. 一方的な受け身の授業ではなく、“考える力”をつける授業です。
4. 講師は各コースの指導教授の他に、各分野で活躍されているゲスト講師をお招きします。
5. 受講生相互の情報交換や、ネットワークづくりに役立ちます。



一般社団法人
日本ショッピングセンター協会

● SC 序論 (合宿研修)

Curriculum

指導教授／小嶋 彰 (株)フロンティアリテール研究所 代表取締役(SC経営士)

日程	単元	課 目	内容と目的
4/10 (木)	1	合宿研修について	SCアカデミーにおける学習の意義や手法、覚悟等について、および、19期生の連携強化について
	2	特別講義 I	調整中
	3	環境革命の世紀	今世紀最大の課題である「環境」に対し、我々はどうのような位置に立ち、何を考え、何をすべきなのか？ 商業環境やSCを取りまく「環境」の様相を、歴史的・批評的・包括的に俯瞰しながら、このアポリアへの展望を示す。
	4	『The Art of Being』 SCの存在可能性への問いと技術	自然環境、健康、平和、経済・・・社会が直面する複合的な危機が、ビジネスの存立基盤を揺るがしています。SCとは“何か”と本質から問い直すこと、そしてその姿勢を支えるものとして、「哲学」の知を自分のものにしましょう。
	5	SCアカデミーをサードプレイスにする 交流会	SCアカデミーを「居心地のよい場所」にするための工夫や、講義の効果的な受け方についてお話しします。
4/11 (金)	6	経済社会における小売商業の役割と 次世代ショッピングセンター	①コロナ終息後、新しいSC創造への動きがスタート。特に、既存施設のリノベーションが活発に推進される。今回は、リノベーション戦略について再確認を行う ②家計消費構造の2025年アップデートと人々のライフスタイルの変化 ③SCの新しい核施設の役割も担う施設開発:エンターテイメント、ウェルネス(グリーン環境を含む)、および、F&B(= Food & Beverage = 食物販と飲食)の施設充実について ④地域活性化における商業施設の役割
	7	特別講義 II	調整中
	8	レジャー施設としてのSC・商業施設の ポテンシャル	経営実践論の各講義の理解を深められるよう新しいショッピングセンターや商業施設のこれからの方向を考えます。本年はレジャー施設としてのSCの可能性に視点を置いてみます。
	9	グループディスカッション	グループに分かれ、課題のテーマについてグループ内でディスカッションを行い、まとめを発表する。
	10	総 括	合宿研修のまとめ

● SC 総論 I

Curriculum

指導教授／犬塚 潤一郎 実践女子大学生生活科学部 教授(哲学、メディア学、風土学)

日程	単元	課 目	内容と目的
4/18 (金)	1	哲学: 構造を読み解き、考えるための技術	知性のメカニズム化(AI技術)が進む今日、社会課題の意味を明らかにし創造的な解法を生み出す、人の知力の重要性が増している。知の技法としての哲学を学ぶ。
4/25 (金)	2	デザイン: 「幸福」に寄与する店舗デザイン	資本主義・産業社会の転換のなかで、これからの商業をいかにデザインするか。SC空間の意味とかたちを具体的に構想する。
5/9 (金)	3	経営: 「生命的」な社会における SC 経営	企業の“存在意味”とは何か？ エコロジカルエコノミー時代におけるSC運営を実現するための理論と姿勢について考察する。
5/16 (金)	4	生活: 社会の進化と「日常」の深化	デジタル化と人の関係の変化、技術の進歩と人の能力の進化が問われるなか、街と暮らしの意味と豊かさをどのように深めることができるのか。事象事例を通して考察する。
5/23 (金)	5	芸術: 社会と生活の意義と形	アートに関して世界から周回遅れの日本。日常や地域社会にアートを結び付ける=ビジネスに生かして成功するには？ 世界標準のアート産業から具体的な事業メリットを明らかにする。
5/30 (金)	6	Actual Visionary Meeting: 地球と人類を視野に、SCの現状を大きく変えようとする志を持つ人々が共に語り合う	受講生の皆さんと、講義を担当した講師たちとの、クロスインパクトミーティングを行う。

● SC 総論 II

Curriculum

指導教授／彦坂 裕 (株)スペースインキュベータ 代表取締役・上海視覚芸術学院徳稲大師学院教授・日本建築家協会会員

日程	単元	課 目	内容と目的
6/6 (金)	1	都市環境の運営 — エリアマネジメントの現代的位相 —	<スクール形式> 街とSCの再生を国内外の先進的事例を中心に紹介しながら、その方策、キーワード、意味、課題などを包括的に分析し、都市事象のデータ化や可視化、さらにその言語化の重要性、そして実験的なマネジメント推進方法を展開する。
6/13 (金)	2	ランドスケープとSCの相互交通	<スクール形式> 庭園の構成手法からランドスケープの概念、ランドスケープと都市創造・地域創造の問題を紹介するとともに、今後重要になるSCにおけるランドスケープ価値やランドスケープの視野の可能性、景観創造、まちづくり、エコロジーの実践的展開を考察する。
6/20 (金)	3	「SCの定義」の現在	<クロストークセッション> ゲストパネラーを交えた受講生との対話の中で、現代におけるSCというターミノロジーの定義をめぐる議論を多角的な視点から討議する。パネラーによるミニ座談会も開催予定。
6/27 (金)	4	SC・グリーエン・映画と都市	<スクール形式> SCの父と言われるヴィクター・グリーエンの足跡、その思想と方法、現代におけるレガシーを紹介しつつ、映画と都市の相関性やSCをめぐる文化的問題を、歴史的横断性をもちながら考察する。
7/4 (金)	5	集客装置としての商業環境	<スクール形式> 集客や滞留、さらには顧客・参加者の支持を得るイベント創造の歴史的・同時代的事例、その制作論、現代における展開、そして地域創生との関係などにフォーカスを当てながら、商業環境の魅力やレジリエンスを高めるあり方について深耕する。
7/11 (金)	6	SCの未来価値	<パネルセッション> 受講生参加型で、SCがもつ未来価値、SCによってかなえられる社会的な夢、そのためのイノベーションをリベラルアーツ的視界で考える。ゲストパネラーには、アカデミー講師を含む最前線で活躍されている方々を招聘、合わせて総論IIの総括も行う。

● SC 経営実践論

Curriculum

指導教授/矢木 達也 (株)ピーエーシー・アーバンプロジェクト 代表取締役社長(SC経営士)

日程	単元	課 目	内容と目的
8/22 (金)	1	SC事業の理解・リート・ファンドと バリュアアップ	商業施設の所有形態として定着化したJリートとその仕組みを理解する。 NOIから資産価値を算出、バリュアアップの仕組みを考える。
8/29 (金)	2	流通の変化とリテイルの未来像	SCのパートナーであるリテラーは今後どのように変化していくであろうか。 ナショナルチェーン一辺倒ではない新たなパートナーを探す。
9/5 (金)	3	地方商店街の活性化事例とSCへの応用	地方商店街の活性化、まちおこしの具体策を事例から学び、SCでの応用を考える。
9/26 (金)	4	海外先進事例を通して新たなSC開発の手法	アジアでのSC開発をケーススタディにコンセプトワークから、プロセスプランニング、 デザインワークなど、ネットにはかなわないリアルの場づくりを学ぶ。
10/3 (金)	5	プレイスメイキングによるSCの新たな 「場」づくり	SCや周辺エリアの空間を誰もが使いこなせる居心地の良い空間に変える。 多様なアクティビティを創出させるプロセスやデザイン、ネットワークづくりを考える。
10/24 (金)	6	SCで活用すべきテクノロジーや新たな試み	リテイルテックやフードテックなど、SCを取り巻くテクノロジーの進化とSC事業 でのオープンイノベーションについて学ぶ。
10/31 (金)	7	まとめ ー 次世代SCの仮説づくり ー	グループ別ディスカッションとプレゼンテーション

● 特別演習

Curriculum

指導教授/太田 巳津彦 (株)ワイ・キャップコンサルティング 代表取締役(SC経営士)

日程	単元	課 目	内容と目的
9/19 (金)	1	特別演習Ⅰ	ケーススタディを通じて、戦略策定のフレームワークを身につける。
10/17 (金)	2	特別演習Ⅱ	注目の商業施設を訪問し、フィールドワークを行う。
11/14 (金)	3	特別演習Ⅲ	フィールドワークに基づき、当該施設の活性化戦略を策定し、プレゼンテーションしていただく。

● 特別講義

Curriculum

日程	単元	課 目	内容と目的
4/10 (木)	1	特別講義Ⅰ	調整中
4/11 (金)	2	特別講義Ⅱ	調整中
7/18 (金)	3	特別講義Ⅲ	調整中
8/1 (金)	4	特別講義Ⅳ	調整中

● ゼミ方式 (いくつかのグループに分ける)

Curriculum

日程	単元	内 容
7/25 (金)	1	卒論書き方講座、各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他
9/12 (金)	2	各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他
10/10 (金)	3	各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他
11/7 (金)	4	各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他

※やむを得ない事由により、講師・時間割・講義内容等を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◆第19期 SCアカデミー開催要領

1. 会場 (一社)日本ショッピングセンター協会(東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル15F)、他
2. 期間 2025年4月～2026年3月(授業は11月中旬まで実施予定)
3. 時間 金曜日 18:30～20:30 ※授業によって変更になる場合がございます
4. 受講料 440,000円(本体価格400,000円 消費税40,000円)
5. 対象 SC協会会員企業の中堅社員(SC事業に関連した職種で5年以上の実務経験を有すること)
6. 定員 40名(予定)
7. 担当指導教授(敬称略)

- SC序論(合宿研修) 小嶋 彰 (株)フロンティアリテール研究所 代表取締役 (SC経営士)
- SC総論Ⅰ(6単元) 犬塚 潤一郎 実践女子大学生生活科学部 教授(哲学、メディア学、風土学)
- SC総論Ⅱ(6単元) 彦坂 裕 (株)スペースインキュベータ 代表取締役・上海視覚芸術学院徳稲大師学院教授・日本建築家協会会員
- SC経営実践論(7単元) 矢木 達也 (株)ピーエーシー・アーバンプロジェクト 代表取締役社長 (SC経営士)
- 特別演習(3単元) 太田 巳津彦 (株)ワイ・キャップコンサルティング 代表取締役 (SC経営士)
- 特別講義(4単元)
- ゼミ方式(4単元)

8. お申し込み・お問い合わせ先

(一社)日本ショッピングセンター協会 教育研修部^{よでん}／^{かくとう}奥田・川合・阿部・角当
〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル15F
TEL: 03-5615-8523 FAX: 03-5615-8539 E-mail: kenshu@jcsc.or.jp

9. お申し込み締切日 **2025年2月12日(水)** ※期日前でも定員に達し次第、締切とさせていただきます。

10. 受講申込者及びご担当者様へ

- 基本リアル受講を推奨いたしますが、遠隔地での受講をご希望の方はリモート受講も可能です。「合宿研修」、「SC総論Ⅰ・Ⅱ」「SC経営実践論」の最終回、特別演習の現地視察は、原則リアル受講となります。SCアカデミー事務局より遠隔地からの受講生として承認された方は交流の機会の支援(宿泊費)を、年間5回、各回1万円を限度に補助いたします。
- 下記の受講申込書を提出後、①実務経歴書及び所属企業の推薦状と②1,200字程度の小論文(何を学びたいか、受講の目的)の提出をお願いいたします。受講申込者については、①実務経歴書、②小論文に基づいて、入学の審査を行います。審査の結果によっては、受講をお断りする場合がありますので、ご了承ください。審査結果は、2月末にご連絡いたします。協会事務局より受講申込書を提出後に、①のフォーマットのデータをお送りいたします。①、②につきましては、2025年2月20日(木)までに必ずご提出願います。
- 開催期間中に受講生が何らかの理由で辞退されても、受講料は返金いたしませんので、ご了承ください。
- 本アカデミー修了者は、SC経営士二次試験が免除になります。

----- キリトリ線 -----

<FAX:03-5615-8539> 奥田・川合・阿部・角当 行

SCアカデミー第19期受講申込書

企業名: _____ 担当者部署: _____ 担当者名: _____
〒 _____ TEL: _____
住所: _____ FAX: _____ E-mail: _____ @ _____

受講者名	部署・役職	E-mail
フリガナ		@
フリガナ		@

※振込銀行名: _____ 銀行 _____ 店から _____ 銀行(協会指定)へ _____ 月 _____ 日振込予定

個人情報の利用目的について

当協会は、今回取得します皆様の個人情報を主に「SCアカデミー」を実施するために利用します。その円滑な実施のために名簿を作成して、参加者や講師に配布します。詳細は当協会ホームページを参照ください。 <http://www.jcsc.or.jp/>